令和８年第７回 桑折町教育委員会定例会 議事録（要約）

１．会議の概要

開催日時：令和８年６月２６日（金）午後１時３５分開会　午後３時２１分閉会

場　　所：桑折町役場 中会議室

出 席 者：教育長 佐藤浩哉、教育委員３名（小野紀章、柴田宣広、長谷富子）

欠 席 者：教育委員１名（鈴木キヨ子）

事務局等出席者：教育文化課長 八巻靖之、副参事 佐藤克彦、こども教育係主査 佐藤太宥

書　記：主任主査兼こども教育係長 安藤雅規

傍 聴 人：なし

２．教育長あいさつ

中学生向け「桑折学習塾」開校（1 年 17 人・2 年 13 人・3 年 18 人）

県北教育事務所による醸芳小・半田醸芳小への学校訪問。

町議会で義務教育学校関連や自転車青切符制度、引率遠征、特別支援教育などの一般質問。

３．報告事項

（１）教育行政報告

教育文化課長から教育行政について報告があり、質疑が行われた。

長谷委員：半田醸芳小学校の要請訪問について質問。

教育長：要請訪問は、県北教育事務所の指導主事が来校し、授業を視察・指導する取組。

柴田委員：授業する先生１人に対し、指導主事１人が担当するのか確認。

教育長：1 人の指導主事が必ず授業を見る。主任指導主事・管理主事・校長は全体を見る。

（２）令和８年第４回桑折町議会定例会報告

教育文化課長から「町議会定例会」について報告が行われ、これに対する質疑はなかった。

（３）第４回桑折町義務教育学校基本構想等検討委員会報告

こども教育係主査から「基本構想等検討委員会」について報告があり、質疑が行われた。

柴田委員：コンピュータ室について質問。

こども教育係主査：現在あまり使われていない。

柴田委員：放課後児童クラブの運営主体について質問。

課長：現在は町主体で運営。今後は未定。敷地は共有するが学校管理とは別。

柴田委員：既存施設利用の義務教育学校と新設した義務教育学校の違いについて、今後の検討委員会での議論に期待。

部活動の外部指導者について、国や県レベルでの関与が必要との感想を述べた。

教育長：柔軟な教室配置やオープンスペースを生かすなど、魅力化を図り、内外に発信する。

部活動は、広域での地域移行を検討。

小野委員：「義務教育学校設置の意義」に、教職員確保がしやすくなる旨の追加記載を提案。
卒業式に代わる区切りの式やイベントを実施する旨の追加記載を提案。
「通学方法」に、スクールバスに加え、徒歩・自転車通学の追加記載を提案。
地域開放について、部活動の地域移行に関する追加記載を提案。
「小中学校施設の現状」の記載について、同じ基準での記載を提案。
「建築計画の基本方針」の「昇降スペース」に関する記載の明確化を提案。
「スペシャルサポートルーム」への出入口配慮や動線検討の追加記載を提案。
「普通教室」に、大きな荷物の収納スペースが欲しいと要望。
「昇降口」の「滞留を防ぐため用途別に複数設ける」についての明確化を提案。
「部室棟」の記載は「部室スペース」等の表現が望ましいと要望。
「低学年児童専用広場」に、幼児期とのつながりのある場所を要望。
「構造計画の基本方針」は、説明不足のため、凡例等の追加記載を提案。

柴田委員：教師ステーションについて、運用面が大事で、先生が働きやすい環境を要望。
小講堂について、具体化を進めてほしいと要望。

長谷委員：「地域開放エリア」に、町民が本を読める・開放されたスペースを要望。

こども教育係主査：管理・安全面から子供用の想定。生涯学習担当と協議し、設計を検討。

長谷委員：異学年交流の拠点として、広い図書室をイメージしていると意見。

こども教育係長：貴重な意見に感謝。基本構想・基本計画（案）に反映。

（４）桑折町立学校における生成ＡＩの利活用に関するガイドラインについて

教育文化課長からガイドラインについて報告があり、質疑が行われた。

小野委員：学校や町で、生成ＡＩを利活用する統一基準について質問。

教育長：学校での活用上の指針として、また、家庭に啓発する意味で、ガイドラインが必要と考え策定。

４．議事

（１）　議案第１８号　要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について（非公開）

（非公開で審議し、全会一致で原案とおり決定）

５．その他

（１）次回の定例会開催日程（予定）について

定例会：７月２３日（木）午前１０時００分　役場　中会議室

（２）今後の日程について

（３）その他

・令和８年度教育委員・教育長研修会の開催について

・歴史観光交流センター工事の変更契約（地中埋設物の撤去）について

・令和８年６月１９日に発生した東京都北区滝野川第三小学校の火災について